

診療所を中核とした地域医療経営人材育成プログラム 授業計画

授業科目名	経営戦略	担当者	佐藤善信	実施月	2018年7月・8月 2018年11月・12月
-------	------	-----	------	-----	----------------------------

■講義目的

経営戦略に関するベーシックな概念や理論について講義するとともに、毎回のケースディスカッションを通じて、実務に応用する力を養うことを目的にしています。

■教科書<著者『タイトル』出版社、出版年>

使用しません。必要な資料はその都度、配付いたします。

■各回ごとの授業内容

前半3回は経営戦略に関する代表的な理論概念や理論（分析）フレームワークの紹介が中心で、最終の第4回はそれまでの講義内容を踏まえた総合的なケース分析の授業となっています。前半3回の授業では、経営戦略論の基礎的な知識を一通り理解できるように講義します。

将来ビジネススクールへの入学を考えている方は、入学後の学習効果を高めることのできるベーシックな知識を得ることができます。

第1回 1-2 講時 経営戦略のイントロダクションとドメイン戦略論（使用ケース：コモ）

経営戦略とは何か。なぜ経営戦略が必要なのか。経営戦略に関するイントロダクションの講義を行います。続いて、経営戦略の土台となるドメインについてのベーシックな理論について講義します。ドメインは現在ならびに将来の事業領域であり、企業にとってのアイデンティティーでもあります。良いドメインとはどのようなものか。ドメインにはどのような機能があるのか等を議論します。また、顧客層、機能、技術など、ドメインを定義するための軸やSWOT分析について考えます。

第2回 3-4 講時 競争戦略論（使用ケース：大創産業）

競争戦略論のベーシックな理論について講義します。ポーターのファイブ・フォース・モデル、そしてマイルズ&スノーやコトラーの戦略類型論など、ポジショニング・アプローチの代表的な概念や分析フレームワークを取り上げます。

第3回 5-6 講時 資源ベース戦略論（ケース：旭山動物園）

企業にとって、他社に模倣困難な経営資源を獲得、蓄積することは持続的な競争優位を確立するための鍵となります。この授業では、資源戦略論における代表的なフレームワークであるVRIO（分析）と重要な理論概念のひとつであるコア・コンピタンスについて考えます。

第4回 7-8 講時 経営戦略の総合ケース分析（使用ケース：築地銀だこ（ホットランド））

ホットランドのケースを教材に使用しながら、第1回から第3回までに学習した内容を再確認しつつ、それらをケース分析のなかで応用してゆきます。あわせて、ケース分析において陥りがちな問題点とそれをクリアする方法を、ケース分析のベテラン講師が自己の体験をベースにしながら理論的に解説いたします。

■授業方法

受講者が実際の仕事に経営戦略の発想を取り入れることができるよう、企業における実例をできるだけ紹介し、実践的な授業をします。

■参考文献<著者『タイトル』出版社、出版年>

適宜、必要な時には紹介いたします。

■成績評価の基準と評価方法

授業への参加とレポートで採点を行います。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

ケースメソッドの授業となりますので、事前に配付しますケース本文をケースの課題に従って予習してきてください。レポートを提出していただく場合は、前もってその旨をお伝えいたします。